Library News 京教図書館ニュース
2026年11月号 No.314

『100日後に英語がものになる1日10分 ネイティブ 英語書き写し』
ブレット・リンゼイ（著）
サンマーク出版,2025
ISBN:9784763142429
請求記号：830.7||L 63
配置場所：グローバルスクエア北館２階

私のすすめるこの1冊

西山 由美（教職キャリア高度化センター　教授）

『100日後に英語がものになる1日10分　ネイティブ英語　書き写し』

ブレット・リンゼイ（著）

「英語がものになる」「1日10分」―この書名を見たとき、みなさんはどこに目が留まるでしょうか。

私が惹かれたのは、「書き写し」という言葉でした。もともと文字を書くことが好きだった私は、「書き写す」という行為そのものに興味を持ち、早速この本を手に取りました。本を開くと、左ページには英文が、右ページにはそれを書き写すためのスペースがありました。分厚い本ですが、180 度フラットに開く「糸かがり綴じ」になっていて、実際に書く人のことを考えて作られている点にも好感を持ちました。

デジタル化が進んだ今、私たちはキーボードやスマートフォンのフリック操作で、素早く言葉を扱うことができます。便利で効率的な一方で、私は以前から「ほんの少しの時間でも、紙の上に鉛筆で文字を書きたい」と思っていました。書店で探してみると、「きれいな字を書くための練習帳」はたくさんありました。しかし、私は字を美しく整えたいわけではありませんでした。

さらに、この「文字を書く」という作業には、古くから行われてきた「写経」と通じるところがあるのではないかと感じます。文字を書き写す時間は、慌ただしい日常から離れ、気持ちを落ち着かせるのにぴったりです。一種の瞑想のように、心に安らぎと静けさをもたらしてくれます。

実際にこの本で書き写しを始めてみると、思っていた以上に自分の性に合っていました。英文の内容が「感謝」や「困難の克服」「セルフケア」など 10 のテーマに分かれており、前向きな気持ちにさせてくれる言葉ばかりだったことも大きいです。

すでに1回目の 100 日を終え、そのまま2回目の 100 日へと進み、今、その2回目もゴールへと近づいています。皆さんがこの文を読んでくださっている頃には、3回目へ進んでいるかもしれません。

お正月に一念発起してペン習字の本を買い、見事に3日坊主だった私ですが、この本では大きな変化がありました。こうした、文字を書きながら心を整える時間を家族にも勧めたいと思い、日本語でも同様の体験ができる本を探してみました。そして出会ったのが「everyday.meigen ベスト 100 なぞり書き帖」です。早速家族にプレゼントするとともに、私も心に響く名言を一つひとつ丁寧に書き写しています。言葉の意味が少しずつ胸の奥に沁みてきます。

興味を持たれた方は、ぜひこれらの本を手に取り、じっくりと鉛筆を走らせて心を整える静かな時間を味わってください。

おすすめ本紹介原稿を募集中！※詳細は３頁に掲載しています。

第42回 うたとおはなしの会報告



10 月 10 日(土)に、附属図書館にて第 42 回「うたとおはなしの会が開催された。当日は朝から秋晴れの爽やかな天気となり、大勢の親子連れで会場はいっぱいになった。

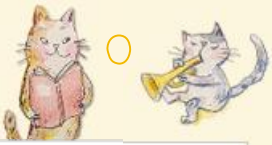
まず最初に幼児教育専攻学生 5 名が「どんぐりころころ」を歌いながら登場すると、待ちかねた子どもたちから大きな拍手がおこり、楽しい雰囲気で開会した。続く、パネルシアター「ふとんの中で」では、ふとんからなかなか出られない動物に、「おきて」と声をかけたり、誰が寝ているのか「ぶたさん」などと、指さして答える子どもたちの姿がたくさん見られた。

続いて、「ピタゴラスイッチ」のテーマを奏でながら、どれみふぁそったくん扮する「森の音楽隊」が登場すると、本物の楽器の演奏を子どもたちが食い入るように見つめる様子があった。まず、音楽隊は、バイオリン、フルート、アルトサックス、ホルン、ピアノ、などで、童謡「やまのおんがくか」を奏でながら楽器紹介をしたり、名曲「シンコペイテッド・クロック」(ルロイ・アンダーソン作曲)を披露したりした。本物の楽器で奏でる音楽に魅了された子どもたちは、今度は好きな打楽器を手にして「となりのトトロ」(アニメ「となりのトトロ」テーマ曲)の演奏に参加した。5 歳男児、3 歳女児と参加した保護者は「音楽がとても本格的で、子どもも大人も夢中で聞かせてもらいました」と感想を述べていた。

楽器演奏で盛り上がった後は、手遊び「大きな栗の木のしたで」を親子で楽しみ、最後の演目、人形劇「11 ぴきのねこ」が始まった。子どもたちは、お腹をすかせた猫たちが大きな魚を探しに出かけたり、みんなで一斉に飛び掛かって捕まえたりする場面を興味津々の様子で見ていた。そして最後に、捕まえた魚をお腹いっぱい食べる場面では、「よかったね」と笑顔で顔を見合わせる親子の姿がみられた。4 歳男児、2 歳女児と参加した保護者は「11 ぴきのねこは、動きが大きくて楽しく、子どもも最後まで飽きずに見入っていました」と、感想を述べていた。

エンディングでは、出演した 4 回生と 2 回生が全員登場し、全員で童謡「きのこ」を合唱して閉会した。子どもたちには、学生手作りのどんぐりポシェット(プラコップとリボンで製作)がプレゼントされ、終了後には早速、子どもたちがどんぐりを夢中で拾い集め、ポシェットに詰めこむ姿がたくさん見られた。3 歳女児を連れて参加した保護者は「季節を感じられるいろいろな出し物で、子どもも夢中になってみていました。とても素敵な時間でした」と感想を述べていた。2 回生が演じた「11 ぴきのねこ」は、昨年 12 月に京丹波町立和知小学校の低学年児童を対象に、上演した経験のある作品である。今回は、乳幼児が対象だったので、小学生とはまた違う反応が見られ、学生にとって大変貴重な学びの場となった。今後も、地域の乳幼児や保護者の心に届く会となるよう、学生と共に努力を重ねていきたい。　　幼児教育科　平井恭子





児童書コーナー(南館 1 階)

幼児教育科主催
えほんのもり

今月の絵本カード(学生作)

『もぐらバス』
原案:佐藤雅彦
文・絵:うちのますみ
出版社:偕成社



※児童書コーナーにかわいいカードが飾られています。ぜひ見に来てください。

保育士試験対策コーナー

保育士試験に関連する絵本・紙芝居などを、11 月 13 日(金)から 12 月 13 日(日)まで南館 1 階の児童書コーナーにて展示します。

おすすめ本紹介原稿を募集します！

あなたのおすすめ本を紹介しませんか？

図書館に所蔵されている本の中から、皆さんの愛読書や心に残っている一冊を紹介してみませんか。寄稿いただいた原稿は、図書館ニュースに掲載いたします。

皆さんからのご投稿お待ちしています！

【文 字 数 】300～400 字程度
【校　正　】1 回のみ
【提出方法】原稿を Word ファイルで作成し、メールに添付してlibrary@kyokyo-u.ac.jp 宛てにお送りください。
【掲載方法】掲載の可否・編集については図書館にご一任ください。



図書館講習会のお知らせ

図書館ではさまざまな講習会を予約制で開催します。
レポート・論文を執筆する前に、図書館職員から施設・サービス・資料の利用方法を聞いてみませんか？皆様のご参加お待ちしています！
【実施期間】10月14日（水）～11月13日（金）
【申込方法】氏名・専攻・人数・希望講座・希望日時（曜日・時限（平日11：30～17：15まで））を明記の上、以下のメールまたは Google フォームから前日までにお申し込みください。調整のうえ、いただいたメールアドレスに開催日時を連絡いたします。
・メール：library@kyokyo-u.ac.jp
・Googleフォーム：二次元コードから申込可能
【集合場所】附属図書館カウンター

詳細は図書館HP 等をご確認ください。



「新着電子 BOOK」のポスターを掲示しています

新たに購入した電子書籍のポスターを、「新着図書コーナー」の横に展示しています。各ポスター下側にある二次元コードは切り離し可能ですので、読みたい本/興味がある本があれば切り取ってお持ち帰りください。



なお、スマホや学外から電子書籍を利用する際は「学認でサインイン」を選択し、学内アカウントの ID・パスワードを入力してご利用ください。

製本作業による雑誌の利用制限について

南館 1 階にある雑誌のうち 2025 年の発行分を中心に、一部が製本作業のため、現在利用できなくなっています。製本後はすべて西館 3 階電動集密書架に配架しますので、そちらをご利用ください。※詳細についてはカウンター迄

イベント案内

創基 150 周年記念展示
第 7 回教育展「京都教育大学の 150 年」



京都教育大学は令和 8 年に創基 150 周年を迎えました。本展では、師範学校時代から京都学芸大学、京都教育大学へと続く歴史を貴重な資料で紹介するとともに、学科やセンターゆかりの「逸品」を展示し、本学の教育研究の多彩な魅力をお伝えします。

【会期】10 月 30 日（金）～12 月 15 日（火）
【休館日】 日 曜・祝 日 、および 11/4（水）、11/28（土）、12/5（土） ※11/15（日）は藤陵祭のため開館
【時間】附属図書館の開館日時に準じる
【会場】附属図書館　北館1階企画展示室

冬季休業に伴う長期貸出について

学部生:12月 9 日（水）～12月25日（金）
院生・教職員:11月25 日（水）～12月 14 日（月）
【返却期限日】2027 年1月12 日（火）

投票をお待ちしています！

リクエストと投票で話題の本を読もう！

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定する企画です。
※結果によっては購入できないこともあります。
※学習研究目的のものは原則として購入しています。
投票期間は 11 月 16 日（月）～12 月 11 日（金）

電子 BOOK 全文試し読み実施中！

電子ブックの全文試読サービス（Maruzen ebook Library）を実施中です！期間は 11 月 30 日（月）まで！
購入してほしい本のリクエストも可能です。
詳しくは館内のポスター、図書館ホームページをご覧ください。

＜開催のお知らせ＞※本学は連携参加大学です
第 14 回京都・大学ミュージアム連携スタンプラリー
9 月 19 日（土）～2027 年 2 月 23 日（火・祝）

教育資料館 まなびの森ミュージアム

【11 月の開館日時】
・9 日（月）、24 日（火）、30 日（月） 14:00～17:00
・13 日（金）、14 日（土）、15 日（日） 10:00～16:00 ※藤陵祭

教育資料館 まなびの森ミュージアム
https://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/

京都教育大学紀要(大学発行の学術雑誌)に掲載された論文を、
執筆した先生本人にご紹介いただくコーナーです。

論のくちび理のむすび

今回の執筆者 **斉藤 恵太**（社会科学科 准教授）

近世フランスの「外来諸侯」― マントヴァ公家とロレーヌ公家を例に

斉藤 恵太

京都教育大学紀要 2026, No.148, pp.73-91
URI: http://hdl.handle.net/20.500.12176/10101

よく知られるように、中近世のフランスで政治の実権を握っていたのは王侯貴族でした。特に 16 世紀末以降はブルボン王家が力をつけ、「絶対王政」とも呼ばれる支配体制を築くことになります。他方で貴族も力を失ったわけではありません。王権がまだ不安定だった 17 世紀半ばにかけては、貴族もそれぞれの家門の命運を賭けて策動し、王権と争うこともありました。ちょうどアレクサンドル・デュマの『ダルタニアン物語』で三銃士が活躍する時代です。

また、ひとくちに「貴族」といってもその内実は多様で、王家と血のつながりを持つ大貴族から地方の零細貴族まで、家格や所領に応じて階層がありました。本稿が着目したのは、なかでも「外来諸侯」と呼ばれる有力貴族です。近世のフランス王国では、隣の神聖ローマ帝国に割拠する小国君主の子弟が軍務などを通じて王家とつながりを得て、王国内に所領を与えられることがありました。彼らは新興の大貴族としてフランスに定住する一方で本家とのつながりも維持し、王国と帝国の狭間で特殊な立ち回りをすることになります。

本稿では、マントヴァ公家とロレーヌ公家を例に外来諸侯の成り立ちや活動の実態に光を当て、近代の主権国家と違って境界が複合的で開放的ともいえる近世国家の特質を描き出そうとしています。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要148 号に掲載されています。
※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」https://ir.kyokyo-u.ac.jp/ に掲載されています。

開館日程

□9:00-20:00 ■9:00-17:00 ■10:00-17:00
■9:00-21:00 ■休館(CLOSED)

2026年11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

11/4 館内整理日
11/13-15 藤陵祭
11/28 学校推薦選抜入試

2026年12月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

12/5 学校推薦選抜入試
12/23-1/4 冬季休業

※開館日程につきましては、変更となる場合がございますので
ホームページをご確認ください。

●京都教育大学附属図書館ホームページ→
https://www.kyokyo-u.ac.jp/library/

← 公式 Instagram
アカウント名称:京都教育大学附属図書館
ユーザーネーム:@kyotokyoikuunivlib

京教図書館 News No.314（2026年 11 月号）
発行日:2026年 11 月 2 日
編集発行:京都教育大学附属図書館
問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp

国立大学法人 京都教育大学 KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION